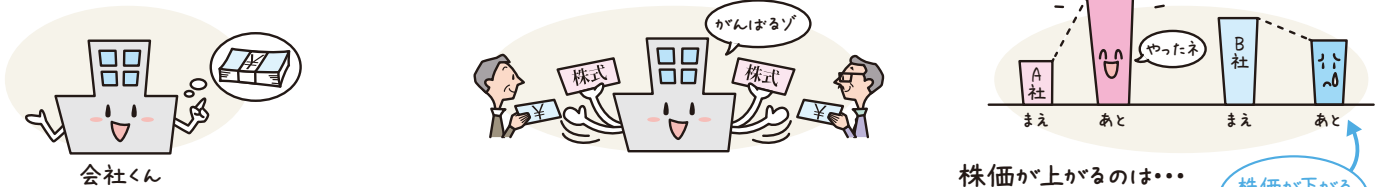


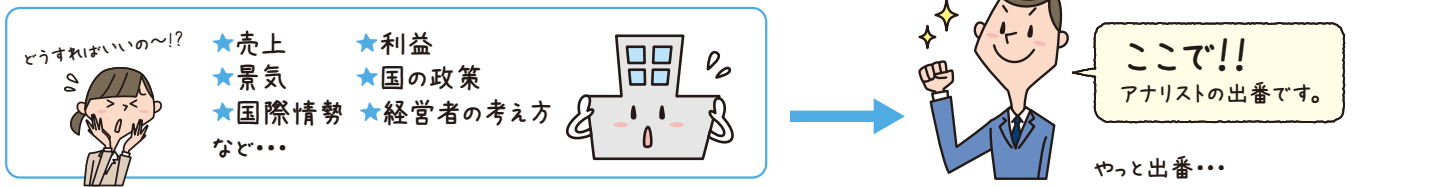
証券アナリストって何?



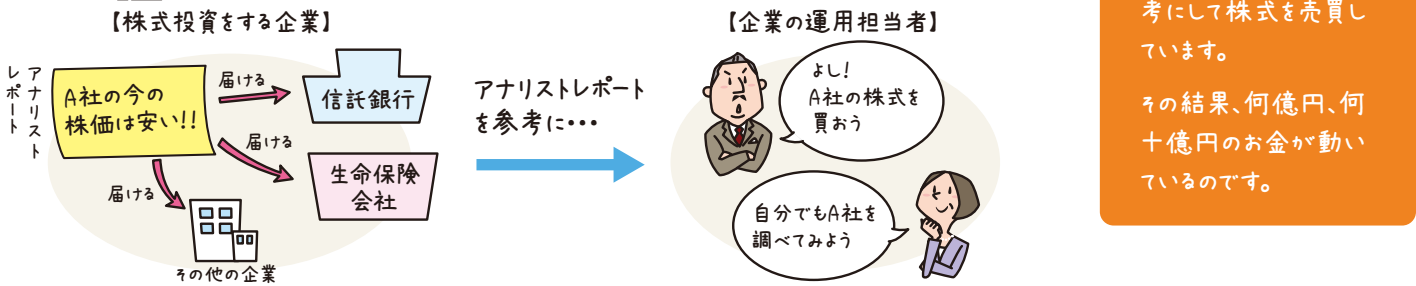
- 1 会社がビジネスをしていくには資金が必要です。「株式」は資金を調達する手段のひとつです。
- 2 会社はお金を借りるなどのほか、「株式」を発行し、株主となってくれる人から資金を集めます。
- 3 株式は取引所で売り買いされ、刻々と株価は変化します。



- そのほかにも...
- 4 株価を決める要因はいろいろあり、動きを予測するのは難しいのです。



アナリストは「株価に影響すること」を調べて、会社の实力に対して今の株価が高いか、安いかを分析し、「アナリストレポート」を作成します。



「証券アナリスト」は金融のプロですね!!

こうした分析のためには、

- ・ 会社の業績が変化する兆しを、いち早くとらえる分析力
- ・ 会社の価値(稼働)を、中長期的な視点でとらえる能力

などが求められます。同時に、高い倫理観も大切です。

↓ 証券アナリストに必要な知識を勉強できる『CMA資格』があります!! ↓

役立つCMA資格!!

CMA*

CMAの知識って、証券アナリスト以外の人も役立つんですか?



もちろんです!! 証券アナリスト以外の人が取得する方が圧倒的に多いですよ。CMAの知識は「ファイナンスの知識」なので、どんなビジネスにも役立ちます。例えば・・・

*CMA資格とは「日本証券アナリスト協会 認定アナリスト資格」の略称です。

幅広い分野で役立つCMAの知識

- 1 企業財務の勉強
(会社の資産や借金などの状況を表すバランスシートのみとり方)
- 2 資本市場の理解
(企業の設備資金や運転資金の調達・供給について)
- 3 M&A(合併・買収)に必要な知識の取得

株価の妥当性を判断するという事は、つまり本来の「企業価値」を算定する事です。これにより市場を通じた適切な投資、資金の配分を可能とし、最終的に社会の利益、発展につながっていきます。



「幅広い分野」というのは具体的にどんな分野で活躍できるんですか?

例えば、上場企業の広報IR部門では、アナリストと対話するために同等の知識が求められます。そのためCMAは広報IR部門でも活躍しています。

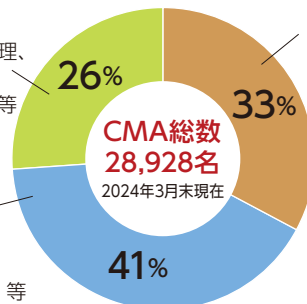


活躍の場が広がるCMA

事業会社
(IR、財務、経理、
投資部門)、
公認会計士等

証券会社、
投資運用、
投資助言、
調査・研究所等

銀行、信託銀行、
信用金庫、生命保険、
損害保険等



役立つ資格だから広がるんだ!!



★現在約2万7千名のCMAが幅広い分野で活躍中!!

CMAはしっかり勉強しないと取れない資格です!! だから・・・

**就活にも、内定後の配活にも、
アピール度が高い!!**

特に金融業界への就職活動では、第1次レベル試験の合格だけでも評価されます!!

CMA資格を取得するには?

受験資格 アナリスト協会の講座を受講すること。
受講料、受験料はウェブサイトを確認してね。

試験
＜第1次試験＞ マークシート方式の科目別試験(年2回)
＜第2次試験＞ 記述式の総合試験(年1回)
・どちらも3科目6分野
(科目Ⅰ)「証券分析とポートフォリオ・マネジメント」
(株式分析、債券分析、デリバティブ分析、ポートフォリオ・マネジメント)
(科目Ⅱ)「財務分析」
「コーポレート・ファイナンス」
(科目Ⅲ)「市場と経済の分析」
「数量分析と確率・統計」
「職業倫理・行為基準」

※ 1次と2次どちらも1回の受講申込みで3年間受験できるよ!



先輩、ありがとうございます!!
私も金融業界志望なので、CMAのこともっと勉強してみようと思います!

CMA目指して頑張ってください!!



企業によっては特典あり♪ ★給与UP(各種手当)・昇格の要件 ★資格取得時に必要な受講・受験料、年会費の補助

◎ このよみものは、どなたでも分かりやすくするために一部要約した内容を掲載しております。 ◎

■ 本紙の最新情報は協会ウェブサイトでご確認ください。また、本紙の文章・画像等の内容を無断転載・使用する行為はご遠慮ください。

